



ローム・アンド・ハース・ジャパン (株) 相馬工場

化学物質管理の現状と リスクコミュニケーション



Mar.7, 2003

EHS/QA

内 容

会社概要

-  ローム・アンド・ハース・カンパニー、相馬工場

化学物質管理の現状

-  種々な取組み

リスクコミュニケーション

-  ローム・アンド・ハース/地域連絡会議 (Rohm and Haas Community Consulting Group)

会社概要

ローム・アンド・ハース・カンパニー

- ✍ **本社** 米国ペンシルバニア州フィラデルフィア市
- ✍ **設立** 1909年（日本では明治42年）オットー・ローム博士とオットー・ハース氏によって設立





- ✍ **日本法人** ローム・アンド・ハース・ジャパン(株)
- ✍ **設立** 1976年（昭和51年）

- ✍ **ビジネスグループ**
 - ✍ パフォーマンス ポリマー (日本アクリル化学株式会社) (東洋エーソン株式会社)
(日本ビニールケミカル株式会社)
 - ✍ **特殊化学製品** (イオン交換樹脂部門が属す)
 - ✍ エレクトロニック マテリアルス (シプレイ・ファースト株式会社)
 - ✍ 塩

- ✍ **主要製品商標**
 - ✍ イオン交換樹脂 : 「アンバーライト」・「アンバーリスト」・「アンバージェット」・「ディオライト」
 - ✍ 防腐防黴剤 : 「ケ-ソン」・「TOC3000」・「Sea-Nine211」
 - ✍ P.ポリマー : 「パラロイド」・「グライマル」・「アクリゾール」・「アキュマー」・「ローペイク」

会社概要

相馬工場

-  **操業開始** 1993年11月
 建設工事着工 1991年11月
 建設工事完了 1993年 3月
-  **従業員数** 59名（2003年2月現在）
-  **製造品目** イオン交換樹脂・合成吸着材
-  **会社沿革** 昭和31年（1956）東京有機化学工業株式会社設立
 昭和32年（1957）同 王子工場 イオン交換樹脂生産開始
 平成 5年（1993）相馬工場操業開始
 平成 7年（1995）ローム・アンド・ハース・ジャパン株式会社

会社概要

相馬工場

総合排水処理場

屋外原料タンク群

中央操作室

品質管理棟

生産工場棟

事務所棟

製品倉庫

正門



東

化学物質管理の現状

管理化学物質

- PRTR ; 6物質
- 福島県 ; 13物質
- 日本化学工業協会 ; 12物質

化学物質管理の現状

環境・衛生・安全基本規則

✍️ 環境管理設備の適切な管理

✍️ 停止の許可手順

✍️ バイパス禁止

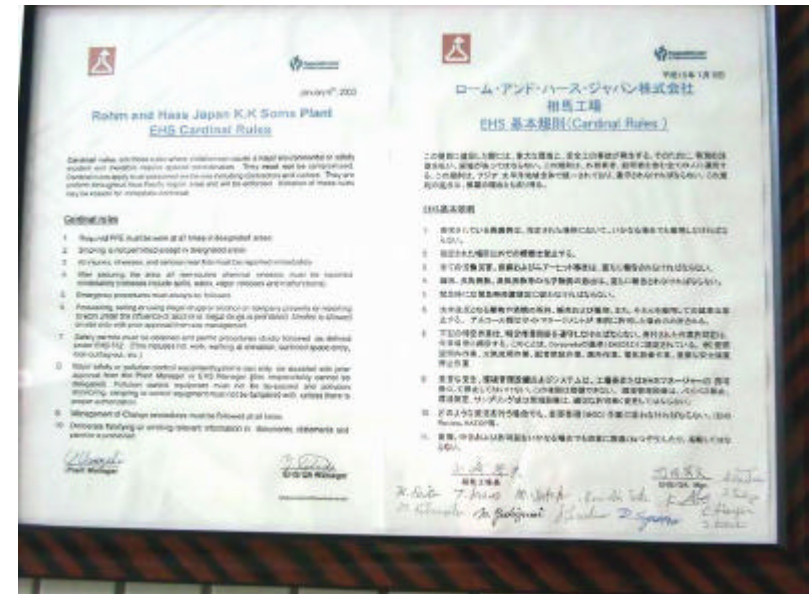
✍️ 変更管理手順

(Management of Change)

✍️ 報告

✍️ 虚偽の報告

✍️ 意図的な報告の省略



化学物質管理の現状

組織 相馬工場マネージメントチーム

✍️ 責任者の選任、責任の明確化

- 関係官庁とのコミュニケーション、報告等
- ビジネス、APR、本社とのコミュニケーション、報告等
- 環境関係法令、社内基準の遵守
- 廃水中、排気中の化学物質の分析
- 環境管理の責任について従業員教育・訓練
- 環境管理設備の管理

化学物質管理の現状

教育・訓練

✎ 従業員教育・訓練：

- ハザードコミュニケーション（製品安全データシート、表示）
- 関係法令、社内環境方針について理解
- 廃棄物の管理、環境管理設備の管理
- 不具合の報告
- 漏洩時の対応責任



硫 酸	
有毒性	3
可燃性	0
反応性	2
特殊性	W

化学物質管理の現状

教育 訓練

✎原料供給者 運送業者：

✎運送中の危険性管理

貯蔵、積み込み、積み下ろし、運送中

✎RC活動

化学物質管理の現状

設備管理

✍️ **クリティカル設備リスト (Critical Equipment List) :**

- **リソースを配分するときの優先順位**
 - 予防保全 (Preventive Maintenance)
 - 予知保全 (Predictive Maintenance)
 - 予備品購入

✍️ **3つのカテゴリーによって評価**

カテゴリー	乗数	評点
環境・衛生・安全	4	0 - 4
ビジネス	3	0 - 4
保全コスト	1	0 - 4

化学物質管理の現状

リスクアセスメント

環境・衛生・安全評価 (EHS Review):

- 新しいプロセス、既存プロセスの変更について、従業員・地域社会・環境などへの影響、既存法令・許可の遵守
- 既存プロセスの5年ごとの定期的な環境・衛生・安全評価

MAPP (Major Accident Prevention Program)

HAZOP Study (HAZard and OPerability study)

化学物質管理の現状

緊急対応と漏洩・拡散防止及び管理：

✍️ 緊急時対応計画

- 自衛防災組織
- 関係官庁緊急連絡網

✍️ 緊急対応資機材

✍️ 防油堤 防液堤



化学物質管理の現状



化学物質管理の現状

臭気管理：

- ✍ 設備の密閉化 除外設備の設置
- ✍ 臭気パトロール 構内、住宅地
- ✍ 臭気苦情対応手順
- ✍ 根本原因調査 再発防止対策

化学物質管理の現状

地下水汚染管理：

- ✍️ 地下水汚染の可能性の確認
- ✍️ 水文地質学的調査
- ✍️ 地下水汚染の可能性のある物質の監視
 - 観測井戸の設置
 - 定期的な測定

化学物質管理の現状

廃水・排気管理

✍️ 管理目標濃度の設定：

- 市との公害防止条例
- 住宅地着地濃度による管理 (CEVs List; Ambient Air Community Exposure Values)









リスクコミュニケーション (ホーム・アンド・ハース/地域連絡会議)



リスクコミュニケーション （ロム・アンド・ハース/地域連絡会議）



経緯：

-  平成 9年 9月 第一回オープンハウス
会社概要、工場見学、環境 安全 防災対策の紹介
-  平成 10年 8月 第二回オープンハウス
会社概要、工場見学、環境 安全 防災対策の紹介、バーベキューパーティー
-  平成 11年 8月 第三回オープンハウス
-  平成 12年 8月 第四回オープンハウス
-  平成 13年 7月 **レスポンシブル・ケアの社内検証**
-  平成 13年 8月 第五回オープンハウス
-  平成 14年 6月 **第 1回ロム・アンド・ハース/地域連絡会議**
-  平成 14年 8月 第六回オープンハウス

リスクコミュニケーション (ホーム・アンド・ハース/地域連絡会議)



レスポンシブル ケア社内検証 (BTMSV)

目的：

- RCの公約と事業活動の統一性の検証
- RCの基準類が事業活動にどのように係わっているか理解する為の教育手段
- RC活動がもたらしている製品に隠れている付加価値やサービスを証明
- RCプログラムを外部の目で検証、改善の手助け

検証者：

- 社内検証者、外部検証者 (弊社顧客、行政、近隣企業)

改善提案：

- フォーマルな地域協議会、緊急対応訓練強化、環境改善計画など19項目

リスクコミュニケーション (ローム・アンド・ハース/地域連絡会議)

✍️ 主旨：

- ✍️ 近隣住民、行政、近隣企業及びローム・アンド・ハース・ジャパン (株) 相馬工場間の意見交換の場

✍️ 目的：

- ✍️ 現在と将来について、お互いの関心事を共有し、お互いの希望・要求を実現するため

✍️ 方法：

- ✍️ 年1回 6月頃、弊社会議室で4者が集まり開催
- ✍️ 議題 弊社の環境・衛生・安全への取組みの現状と目標について (環境報告書)
- ✍️ お互いの関心事について

リスクコミュニケーション （ホーム・アンド・ハース/地域連絡会議）



Responsible Care®
A Public Commitment



<http://www.rohmhaas.com>